

別記様式(第4条関係)

会議録

会議の名称	令和5年度第3回加東市子ども・子育て会議							
開催日時	令和6年2月8日(木) 午後1時30分から午後3時10分まで							
開催場所	加東市発達サポートセンター 「はぴあ」多目的室(2階)							
議長の氏名 (会長 飯野 祐樹) 出席及び欠席委員の氏名 【出席委員】 11人 • 飯野 祐樹 • 本山 早苗 • 前田 潤子 • 柴崎 謙介 • 津田 雅世 • 井上 益子 • 堀本 俊也 • 福原 かをる • 中村 千恵子 • 服部 公一 • 橋本 一 【欠席委員】 2人 • 橋本 裕介 • 神田 正								
説明のため出席した者の職氏名								
出席した事務局職員の氏名及びその職名 教育委員会 こども未来部 部長 田中 孝明 こども教育課長 下岡 正裕 同副課長 稲岡 めぐみ 同係長 丸山 久美子 同主査 金高 将彦								
議題、会議結果、会議の経過及び資料名 <議題> <input type="radio"/> ○議事 (1)『(仮称) 第3期加東市子ども・子育て支援事業計画』策定に係るニーズ調査素案について (資料①)								
<会議結果> <input type="radio"/> ○議事 (1)について 事務局が資料①と調査票案に基づいて説明を行い、審議しました。								

発言者	会議の経過 / 発言内容
	<p>1 開会</p> <p>2 挨拶（会長）</p> <p>3 議事 (1)『(仮称) 第3期加東市子ども・子育て支援事業計画』策定に係るニーズ調査素案について</p> <p style="text-align: center;">事務局から資料①、調査票案に基づき説明</p> <p>【質疑応答等】</p> <p>会長　　全体で質疑をすると焦点がぼやけるので、まずは就学前児童の保護者用調査票案から検討を進めたいと思います。</p> <p>委員　　2番について、お子さんの生年月日は、一番上のお子さんことを書くのでしょうか。何人かおられる場合はどうするのでしょうか。</p> <p>会長　　封筒に対象者の名前が書いていると思います。きょうだいの中でも恐らくお一人になると思います。</p> <p>委員　　問19「現在『幼稚園』を利用している方におうかがいします。」について、これは幼稚園が対象ですか。こども園の1号認定のお子さんは、幼稚園のお子さんと同じように教育・保育時間、4時間程度だと思います。その方たちは入っていないくて、幼稚園でしたら加東市では兵庫教育大学附属幼稚園だけになりますので、対象について伺います。</p> <p>事務局　認定こども園の1号認定のお子さんに関しても対象になりますので、文言を修正します。</p> <p>会長　　用語に関して確認するが、問28-2において、1番選択肢のところ「希望する保育所」だけに限定されています。</p> <p>事務局　認定こども園や幼稚園も対象になります。</p> <p>委員　　幼稚園、認定こども園を全部並べると、文章も長くなる。例えば保育施設として括弧で3つを幼稚園、保育所、認定こども園と並べるなど、検討してください。</p> <p>事務局　検討し、文言を修正します。</p> <p>委員　　問29について、設問として「楽しいと感じることが多いと思いますか。それとも辛いと感じることが多いですか。」という問い合わせになっている。辛いとはつきりと書かれると（自分は）辛いということを確信されるのではないか、そのような気がします。もう少しやわらかい問い合わせや、問29をなくして、あの設問だけにされるのはいかがかなと思います。</p> <p>会長　　アンケートの回答によって、辛いということを認識してしまうのではないか、ということですね。何か違う表現などはありますか。</p>

委員	例えば子育ての時間をどのように感じいらっしゃいますか、というのはどうでしょうか。回答として楽しいと感じるとか。
会長	問29「多いと思いますか」というところで、すごく誘導的な質問になっている部分もあるかと思います。まず、この質問の意図を説明していただいたほうがよろしいかなと思います。
事務局	これは加東市が独自で調査しようとしている内容になります。前回の調査から現在の意識の変化といいますか、楽しいと感じておられる方、または辛いと思われている方、その割合がどのように変化したかなどの調査を同時にを行うためこのような設問になっております。しかしながら、委員がいわれるよう、このアンケートを回答していただく方に対して辛いんだということを再認識させるような設問もよくないかなとは思いますが、回答としてはやはり楽しいと感じておられる方の割合が多いのか、それとも辛いと感じておられる方の割合が多いのかというのを出していきたいとは思いますので、設問の内容に関しましては委員の意見を参考に「あなたの子育て中の時間に関して」のような設問を検討していきたいと思います。
会長	平成30年度の調査と比較する必要があるのであれば、文言はここまで触らないほうが良いかなと思いますがどうでしょうか。
事務局	同じ文言にしています。
会長	調査の意図とかがそこにあるかなと思いますがどうでしょうか。
事務局	「辛い」という文言が、少ししんどいと感じられている保護者にすごく刺さっていくのかなというところで、質問の内容に関してはこの意向ですが、文言の修正をさせていただきたいと思います。
会長	比較ができる文言の修正という形でよろしいでしょうか。また、辛いに代わる表現はありますか。
委員	強い言葉にならないように「しんどさを感じることのほうが多いでですか」のほうがいいのかなと思います。全く同じかと言われると違うかも知れないですが、どちらかというと負の感情を感じることが多いかどうかを聞きたいということであれば。
会長	「楽しい」ってすごくいいのかなと思いました。例えば、子育てに対して抱く「楽しさ」の程度を4段階にして、楽しさの程度で比較すると、その下のほうがどちらかというと辛いという理解で整理することができるかなと思います。
委員	前回の回収率は、想定より多いのですか。少ないのですか。
事務局	調査期間が2週間しか取れなかったこともあり、前回の回収率は思ったよりも伸びませんでした。
委員	今回は調査の期間を長くしたということですか。
事務局	調査の期間を長くすることに加えて、WEBアンケートも同時に実施しま

	すので、回収率としては前回を上回つくると想定しております。
委員	WEBの設問というのは、回答を必ず全部入れていかないと次に行けないようになっていますか。それとも好きなところだけ答えるということも可能ですか。結構設問が多いと感じますので、WEBだと多分途中で面倒くさいと思ってやめる方もいるのではないかと思います。
事務局	WEBに関しては、回答したら次の質問が出てくるというような形ではないということで聞いています。もしかしたら、途中でやめるような方もおられるかもしれません。
会長	<p>回答で不備が絶対出てくると思います。その不備が出てきたところに関しは、項目だけで選択した人数で検討を行っていくという形でよろしいですか。</p> <p>ほかに、例えば絶対これだけは答えてほしいところはありますか。そのあたりも何か設定で、必須回答の形にしておくということもできるかなと思いますが、どうでしょうか。</p>
事務局	その内容でいいますと、問10から現在の保護者の方の就労状況に関しては、保育所や認定こども園、幼稚園なんかをどれぐらいの方が使いたいかという量の見込みの基礎資料になりますので、問10から13、大きい題4の「宛名のお子さんの保護者の就労状況についておうかがいします。」は、必ず答えていただきたいところです。
会長	<p>回答者の心情としては、この問10から13が後半に設けられていることが、気になります。この段階でお伝えするのはどうかと思いますが、これらを最初にもつてくるというのはいかがですか。まず、重要な設問を聞いていただいて、その後に自由回答みたいな流れかなと思います。</p> <p>また、WEBになると、項目ごとに見た際に、おそらく後半部分の回答率が下がるということが想定されますので、その対応というのは考えてもいいのかなと思います。</p>
事務局	設問の順番につきましては、前後の入れ替えなど可能ですが。必要なところを前にもつてきたほうがいいということもありますので、修正を検討します。
会長	回答方法に関して、必要なところは回答しないと次に進めないという制限をかけるのはいかがでしょうか。必要な情報なので、確実に回答してもらえるようにしておいたほうがいいと思います。
事務局	システム上の制約があるかとは思いますが、そのような設定をできるように調整をしていきます。
委員	各設間に例えば8番でしたら8-1とか2に横棒がついたところがあります。この横棒がついてるところの設問にはアンダーラインが引いてあります。これは見やすいと思いましたが、アンダーラインがないところもあります。例えば問10の10-1とか2や11に、アンダーラインがありません。回答する者からすると何か意味があるのかなと思いますので、統一するほうがよい。何か意図があるなら教えていただきたいです。
会長	質問項目のアンダーラインについては、この項目は回答者が全員ではなく

	対象者が限定されているという理解でよろしいですか。
事務局	そのとおりです。
会長	その点につきまして、4ページの10-1と10-2ですが、「問10で1から4を選ばれた方」と回答対象が限定されていますが、ここはアンダーラインが入っていませんので、ご確認ください。
事務局	会長が言われているとおりでして、10-1、10-2、11-1、11-2については、対象者に回答していただくところになります。アンダーラインが抜けていますので、追加します。
委員	問30について、こういうことを加東市の施策に反映していきたいという質問の意図があるかと思います。この点について、子育て支援を近隣市と加東市を比較してみたら、よく気がつくのは子育ての医療費の補助についてです。これが全国的に見ましてもはつきり医療費とうたっています。このように、問30の子育てに係る費用の負担という項目がありますが、選択肢として医療費の補助という項目も加えていただければ、より回答しやすいと思います。高校生まで無料とかいろいろ、近隣市ではされていると思います。そのようなところについても、加東市も具体的に打ち出していくことも政策次第かなというふうに思います。
会長	問30で、医療費などの項目というところに関しまして、加えていただけますか。他市でこのようなアンケートをした場合に、求めるサービスでやはりよく出てくるのはお金の関係が出てきますので、特にそのあたりのところは大事なのかなと思います。また、おそらく問30で丸（回答）はいくつでもということですが、気持ちとしては全部丸をつけたいと思いますので、回答を限定するか絞るかということを検討する必要があるかなと思います。その中でお金のことがよく出てくるのであれば、そこは重要であるということが分かってくると思います。そのあたりのところ、事務局いかがでしょう。
事務局	医療費のことについては、もう加東市は、高校3年生までは全額公費負担ということで、病院に行かれた際の診療費、治療費はお支払いされてない状況になります。
委員	例えばほかの市だとインフルエンザワクチンまで補助する市があるなど、今、現状保険診療に関しては高3まで補助されていますが全てというわけではないので、その他医療費でもっと補助してほしいと思っている方もおられるかもしれません。
会長	ワクチン関係の部分で検討いただければと思いますが、いかがですか。そうしましたら、医療費に関しましては、必要な部分につきましては、新たに項目を加えさせていただくという形でよろしいでしょうか。
委員	それともう一つ、問30の選択肢の項目の中に、こども食堂、今は行政が直接関わっておられないのですが、いずれこれもやっぱり行政が担うべき仕事の1つだろうというふうに思いますので、こども食堂に係る支援といったものも保護者の方には望まれていることもあるのではないかと思いました。 さらに、既に始まっている小中一貫教育について、保護者の方はなかなか中身までは分からないのですが、気になるのは空き校舎あるいは空き教室の

	有効活用というものを子育てと何らかの形で縁をもってほしいという要望が、地元から聞こえますので、そのような内容を何かしらの項目で追加していただけれるよう考えていただきたい。
会長	こども食堂の項目につきまして、入れる方向でよろしいでしょうか。それと、回答の丸の数について、限定したほうがいいのでしょうか。
委員	私はWE Bアンケートでいろいろ回答しますが、大体、丸は3つまでか5つまでが多いように思います。回答する側の優先順位を絞らせるような形にしたほうが、回答を受ける側の市民が何を望んでいるのか、何に困っているのかというのがより分かっていいと思います。
会長	回答項目が18項目あるので、3にするか5にするかだと思いますが、どちらがよろしいですか。
事務局	提案させていただくのであれば、問29-1と問29-2のところが、当てはまる番号を3つまでということで回答を設定しています。つきましては、同様に丸3つというところで設定してはどうかというところで提案させていただきます。
会長	では、丸3つというところで修正いただければと思います。 話題が変わりますが、回答者の質問の受け止め方によりますが、問30の項目の10です。「母子の健康のための健診や訪問の充実」と設定されていますが、30の項目も、平成30年度のアンケートと同じですか。
事務局	問30につきましては、前回の会議でも検討していただきましたアンケート調査、これと同じ内容を今回、問30のほうで記載させていただいておりますので、前回の加東市子ども・子育て支援事業計画を策定するための設問というよりは、前回の会議で検討していただきましたアンケート調査、これと同じ内容、同じ項目を設定させていただいております。 したがいまして、できましたら今回の方にアンケートをとらせていただきて、前回のアンケートも同じような人数でアンケートをとるような形にしておりましたので、サンプルが増える、サンプルという言い方が適切かどうか分かりませんけども、回答を多くの方に同じ内容で回答していただけたら比較や、どういったことを希望されているのかということが分かりやすくなるかなというふうに考えております。
会長	おそらく回答を3つに絞りますので、回答者によっての差異というのも分かってくるかなと思いますので、そのあたりのところを優先順位で見ていくればなと思いました。
委員	一番大事と思う項目に二重丸をつける、他は普通の丸というのはどうですか。
会長	回答方法につきまして、アンケートの構想段階で、優先順位の上位3つを選んでもらうというパターンと、3つ選んでもらって優先順位をつけてもらうという2つのパターンを検討しました。優先順位までつけていただくと回答が難しくなるのではないかということがあります、まずは3つというところで、このような形になったという経緯はあります。優先順位をつけたほうがよろしいですか。

委員	いえ、3つ選ぶ中で1つだけ一番自分が望んでいるところを二重丸にすれば、いいのではないかと思います。
会長	おそらく上位3つの項目につきましては、回答者の意識ではそこまで大きな差異はないのではないかと思っています。選ばれた3項目すべてが1位として理解しても良いかもしません。ですので、上位3項目の中で優先順位を付ける作業は難しくなることが想定されます。また集計の結果、多く選択された項目が回答者の方々が市に切望している項目であると理解できますので、この形でも有益な情報が得られると思いました。
委員	最近のアンケートによくあるのは、アンケート時間が何分かかりますということがよく書かかれています。このアンケートも回答に結構時間がかかると思いますので、大体WEBでも何分とか、今の進捗状況がわかるようになりますかと思いつますので、それが回答率を上げることに繋がるのではないかでしょうか。お忙しい保護者の声を全部書いてもらうというのは、結構な労力だと思いますので、このような工夫があっても良いかと思いました。
会長	回答時間の記載は可能ですか。WEBアンケートでは、現在の進捗状況について、「現在は全体の何パーセント回答済です」みたいなのが表示されるものがありますが、このような工夫は回答のモチベーションにもつながります。
事務局	回答の進捗状況につきましては出せます。
委員	調査票の1ページ当たりの文量がすごく多くて、見にくいと感じています。字が詰まり過ぎているのではないかと思います。このあたりを見やすいように変えていただいたほうがよいと思いました。
会長	おそらくWEBは大丈夫かなと思いますが、紙面がこれよりも多くなるということにつきまして、何か支障とか出てきますか。
事務局	調査票の用紙の量の関係もございますので、調整させていただきながら文字を大きくするところや、今のままというところなど見直しをさせていただきます。
会長	わかりました。では、就学前児童の保護者用調査票についてはほかになにがありますか。無いようでしたら、続きまして就学児童の保護者用調査票のご意見をいただければと思います。
	私が一つ。問9-1の項目の11番なんですが「加東市役所の子育て担当窓口」というのは、1つにまとめてよろしいですか。いろいろな窓口があると思います。
事務局	加東市を分けることも検討はしました。複数の課が子育ての支援を実施していますので、それを1つに統一して回答というところです。
会長	加えて、問9-1では選択項目の対象が機関と人に分かれるとと思いますが、このままでよろしいですか。例えば小学校でも、担任の先生や校長先生などの相談先がいくつかあるかと思い、小学校を一くくりにしていいかなと思います。

委員	実際に保護者の方が相談されるのは担任かと思います。直接管理職に相談される方もおられます、ただ分けると難しいので小学校でいいかなと思います。
委員	問19－1で2番の「保育サービスの充実」について、これは保育所そのもののサービスとか、例えば病児・病後児保育もここに入るということですか。
事務局	はい。
委員	印象として保育サービスという枠がすごく大きいので、少し分けてもいいのかなと思います。
事務局	保育サービスは確かに多種多様なものが存在していると思います。ただ、大きく書いておいたほうが回答しやすいと考えますので、この保育サービスの充実の括弧とし、例を挙げさせていただくような形にしたいと思います。
会長	問11以降で祖父母の方が答えられる場合も想定されますが、現状の形でよろしいでしょうか。前回のアンケートにおいて、祖父母の回答率は分かりますか。
事務局	前回の回答の中で回答者の割合としましては、就学前児童で母親が87%、父親が11.5%、その他で0.6%ということで全くないというわけではございません。小学生の場合に関しましても、その他というところで0.3%ありますので、ごく少数になるかと思いますが、回答者の中には存在していると思います。
会長	その方々への配慮といいますか、説明はどうされますか。
事務局	説明文章において、母親の後に括弧書きというようなところで検討し、配慮をさせていただきたいと思います。
会長	大問2の問5について「この調査票にご回答いただいたる方の配偶関係にお答えください。」というのは、おそらく祖父母の方が答えられても、お伺いしたい内容はお子さんにとってのお父さん、お母さんの形かなと思います。
事務局	はい、そのとおりです。
会長	おそらくこのまま出すと、自分の配偶者っていうふうになった際に、祖父母の方の配偶者になってしまうので、必要な情報とはちょっと外れる回答になるかなと思います。倫理的な問題もあると思いますが、回答者を限定するということはできないですか。お父さん、お母さんに絞るという方法も1つあるかと思うのですが。
	例えば大問4の「宛名のお子さんの保護者の就労状況」というように回答者を限定して書かれていますが、このような表記でもいいかと思います。
事務局	加東市子ども・子育てに関するアンケートを見てください。 その中で、表紙にあります御回答に当たってのお願いの中段にあります2つの丸に、この調査票が入っていた封筒の宛名ということで、先ほど御質問にありました祖父母の回答への配慮が、この文言を入れることによってで

	きるかなと考えますので、就学前児童及び就学児童に関する保護者用調査票の御回答に当たってのお願いにこのような文言を入れさせていただきたい、回答者への配慮をさせていただきたいと思います。
会長	ありがとうございます。そうしましたらフェイスシートで記載いただくという形でご対応をお願いします。
委員	大きい題7の加東市の子育て支援施策についてのところで、楽しいと感じる人は19-1、辛いと感じる人は19-2ですが、この内容がどっちも一緒なので、辛いと感じる人の項目があるのはどうかなと思います。配慮が必要なのではないかというように思います。仕事と家庭の両立も大変ですし、子育ての状況辛い人は本当に大変だなというように思いますので。
会長	先ほど検討しました就学前児童の保護者用アンケートの問29のところで「辛い」という文言について検討させていただきましたけど、ここ部分につきましては、「辛い」という表現を再考いただく形で調整していただけたらなと思っていますが、それでよろしいですか。できるだけ回答者の方にこのアンケートの影響を与えないような形にするという形で進めさせていただければと思いますが、よろしいでしょうか。
委員	問19-1と2の設問について、中身は全く一緒ですよね。これは後で集計するために、このわざわざ1番を選んだ人と、2、3選んだ人で分けておられるのか。
事務局	はい、そのとおりです。あえて分けていたというところで、一緒にしても問19のほうから分けていくことは可能ですので、統合することも可能です。
委員	統合したほうが見やすいように感じます。なぜ分けてあるのかなと思いました。
会長	そうですね。19の回答で後から分けることもできると思いますので19-1と2を統合するという形で調整していただきたいよろしいですか。
委員	文章の構成のことで問19-1と問19-2について、伺います。他の問は文章の終わりまでアンダーラインがありますが、この問については「におうかがいします。」にはアンダーラインがありません。また字体がゴシックと明朝体で異なっているように見えますが、その違いは何か理由がありますか。
事務局	特に理由はございません。設問の表記に関しましては統一いたします。
委員	問15、16についてお伺いします。丸はいくつでもという括弧があります。他の問では最後に記載されていますが、問15、16は途中に記載されています。何か意図はありますか。
事務局	問15の丸はいくつでもという文言の位置について、ほかの設問と合わせます。
会長	問15のところは、丸は幾つでものところで、「または」のところから改行したら分かりやすいのではないかと思います。

事務局	見やすいよう改行などを行います。
会長	あと、アンケートは番号の1とかに丸をつけてもらいますか。
事務局	はい、そうです。
会長	質問番号と質問内容との間にスペースがあるのであれば、幅をもう少し広げておいたほうが良いと思います。丸が重なってきますので、行間を少し広げられると回答しやすくなると思います。
事務局	承知しました。
委員	文章について見やすさの面でいいますと、選択する米印が打ってあります が、米印のところと設問のところが少し見にくく。このところスペースキー が1行分でもあれば、四角の選択肢のところも含めてスペースがあれば見や すいかな、ページ数は余白ありますので。自分が書いて回答しようとしたと きに思いました。これは全体を通して米印のところと設問と回答の四角のと ころのスペースキーがあれば非常によいなと、文章の構成で感じました。
事務局	スペースを入れることに関しては、書面の都合などを調整させていた だいた上で対応させていただきます。
委員	問14-1で、選択肢にファミリーサポートセンターの利用とありますが、 これだけを載せる理由は何かありますか。
会長	問14-1の選択項目の中でいろいろと施設やサービスがある中で、ファ ミリーサポートセンターに類似するセンターもある中、ファミリーサポート センターのみを選択項目に設定された理由はありますか。
事務局	この問14につきまして、まずお子さんの病気の際の対応についてお伺い します。まずは、この1年間で病気やけがであるとか学校を休んだかどうか ということを聞いた後、問14-1で父親または母親が仕事を休んだ際に病 児保育施設を利用したいと思ったのかどうか、そういったところをお聞きする ような流れになっております。要は、病気の際の対応についてまずお聞き したかったのと、病児・病後児保育としているのは、病気の際に今お預かり させていただく市の施設として病児・病後児保育施設がございますので、そ のように限定させていただいたという設問となっております。
会長	おそらく9でその他の選択項目が設けられていますので、そこで対応でき るのではと思います。あと、回答のその他について、複数出る場合があつても よいでしょうか。その他項目で複数出た場合の回答が一行しかないのが気 になります。
事務局	おっしゃられるように複数の対応というのも考えられます。ご質問の件につ きまして、2段書きのような形でさせていただき、それぞれどのような事業と どのような対応をされたかと、それをどのようにどのくらい使われたか というようなところで分けて書けるように追加させていただきます。
委員	先ほど申し上げた問19の1と2と一緒にしたらいいのかなと思いました が、これは意図が少し違っていますか。問19-1は楽しいと思う人がもう

	<p>既にこれがあるから楽しいと思っているのであって、19-2は辛いと思っている方がもっとこういうのがあればいいと思っているという別々のことを聞きたいというように感じます。微妙に違うのか、それともどちらとももつとこういうのがあったほうがいいと思っているという問い合わせなのか、意図が曖昧なのかなと思いましたが、この設問の意図を教えてください。その意図をもって、別々に置いておくべきか、楽しいと思っている人も辛いと思っている人もあるだろうと思うので、今これが満足していることか、不満に思っていることかというのを両方聞けばいいのかなと思います。</p>
事務局	<p>問19につきましては、先ほど御意見をいただきましたとおり楽しいを4段階にするまたは、辛いという文言をしんどいというような表記のほうに変更させていただきます。</p> <p>先ほど統合しても問題ないと回答しましたのは、設問の仕方をその思われた理由を書いてくださいということでの回答にする場合は、統合することが可能です。委員がおっしゃられていたように不満というか、ここを解消してほしい、こういう施策がほしいというような設問の仕方であれば分けて考える必要はあると考えますので、問19の設問の設定次第で19-1と19-2を統合するかしないのかというのは検討させていただきたいと思います。</p>
会長	<p>ほかに意見はないでしょうか。</p> <p>では、丁寧な御審議をいただきまして、ありがとうございました。本日いただきました御意見を事務局でまとめ、アンケートの実施に生かしていただきたいと思います。よろしくお願ひいたします。</p> <p>アンケートの最終確認ですが、先ほどもお伝えしましたとおり3月実施となりますので、本来であれば委員各位も検収すべきところではありますが、スケジュールなどの都合上、申し訳ありませんが会長一任ということでお任せいただくということでよろしいでしょうか。</p> <p>〈異議なしの声〉</p>
会長	<p>それでは、議事が終了しましたので、ここで進行を事務局にお返ししたいと思います。</p> <p>4 その他 特になし</p> <p>5 閉会</p> <p>〈会議資料〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・「第3期加東市子ども・子育て支援事業計画」策定に係るニーズ調査素案について（資料①） ・加東市子ども・子育て支援事業計画策定に係るアンケート調査票案（就学前児童の保護者用調査票） ・加東市子ども・子育て支援事業計画策定に係るアンケート調査票案（就学児童の保護者用調査票）

令和6年3月29日

会長 飯野祐樹